



IWATE BANK NEWS LETTER



平成30年9月21日

株式会社岩手銀行

「いわぎん農業法人ファンド」による投資について

株式会社 岩手銀行（頭取 田口 幸雄）は、いわぎん事業創造キャピタル 株式会社（代表取締役 稲垣 秀悦）と株式会社 日本政策金融公庫（代表取締役総裁 田中 一穂）との共同出資により設立した「いわぎん農業法人投資事業有限責任組合」（以下、「いわぎん農業法人ファンド」という）の投資先として、養豚業を営む有限会社 ありす畜産（代表取締役 水野 雄幸）に出資することを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

有限会社 ありす畜産は岩手県気仙郡住田町で養豚業を営んでおり、「四原種配合豚」の養豚および精肉販売等を行っています。肥育環境の改善および増頭による生産能力の向上に取り組んでおり、今後の事業の成長が期待できることから、今回出資を決定しました。

弊行は、いわぎん農業法人ファンドによる資金供給をはじめ、様々なソリューションメニューの提供により、今後とも農業法人の成長・発展等、地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

1. 出資決定先の概要

企業名	有限会社 ありす畜産
代表者	代表取締役 水野 雄幸
本社所在地	岩手県気仙郡住田町上有住字新田356番地
創業	平成17年2月
事業内容	養豚業（養豚及び精肉販売）
投資額/方法	5,000万円/株式取得
企業の特徴	<p>ありす畜産は、良質な肉質を持ち病気に強い「バークシャー種」を三元豚に掛け合わせた国内では珍しい「四原種配合豚」の養豚および精肉販売等を行っている。豚に与えている飼料は自社の飼料製造プラントで栄養成分を考慮し作られた独自飼料である他、薬に頼らない減投薬飼育を実践しており、平成19年からはコープデリ連合会による「お米育ち豚プロジェクト（※）」に参画。飼料に岩手県産の飼料用米を加えることで、脂肪・肉質に高い評価を得ている。</p> <p>また、当社は生協版畜産GAPの導入に積極的に取り組んでおり、生産工程管理を厳格に行うことで、より安心・安全な豚肉の生産を目指している。</p>

※ お米育ち豚プロジェクト：輸入に頼っていた飼料を国産のお米に替えることで、田んぼを守るとともに、日本の食料自給率を向上させることを目指す取り組み。

岩手銀行



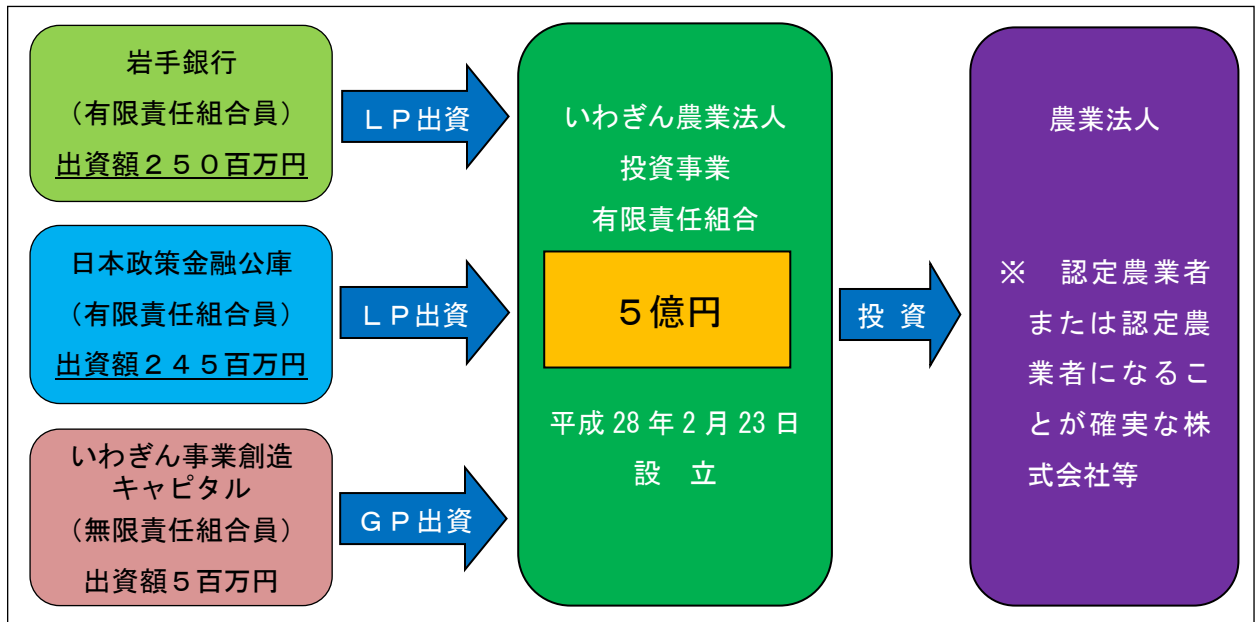
IWATE BANK NEWS LETTER



2. ファンドの概要

名称	いわぎん農業法人投資事業有限責任組合	
ファンド総額	5億円	
設立日	平成28年2月23日	
出資者	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 岩手銀行 250百万円 株式会社 日本政策金融公庫 245百万円 いわぎん事業創造キャピタル 株式会社 5百万円 	
運営期間	約15年	
投資対象	当行営業エリア内の認定農業者または認定農業者として認定を受けることが確実な農業法人であって、株式会社（特例有限会社を含む）形態の組織	
ファンド運営会社	いわぎん事業創造キャピタル 株式会社	

3. ファンドスキーム図



以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社 岩手銀行法人戦略部
 ソリューション営業グループ 高橋
 電話：019-624-7011

